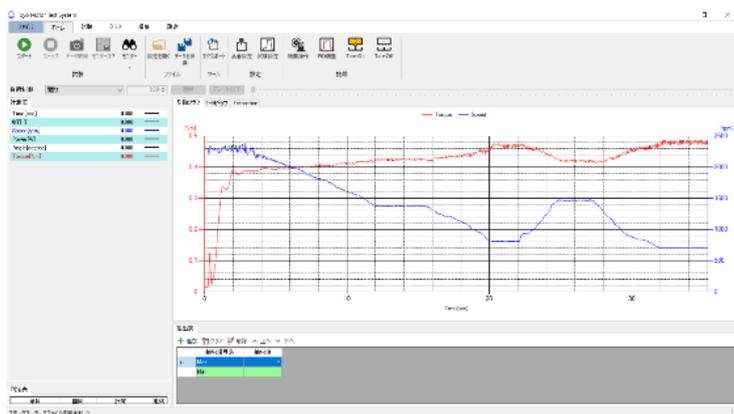


2021年12月13日  
株式会社東陽テクニカ

**自社開発のモータ計測用ソフトウェアに新機能を搭載  
「ドローン向けモータ計測システム」を販売開始  
～ドローン開発の効率化と品質向上に貢献～**

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、ドローン開発市場に向けて、東陽テクニカが開発したモータ計測用のソフトウェア「TMT(Toyo Motor Test System)ソフトウェア」に、プロペラにかかるトルクを模擬する機能として新たに疑似負荷機能を追加しました。東陽テクニカ取り扱いの Magtrol 社製トルク計などのモータ計測システムと合わせて「ドローン向けモータ計測システム」として2021年12月13日に販売を開始いたします。



「TMTソフトウェア」画像イメージ



Magtrol 社製トルク計

【背景/概要】

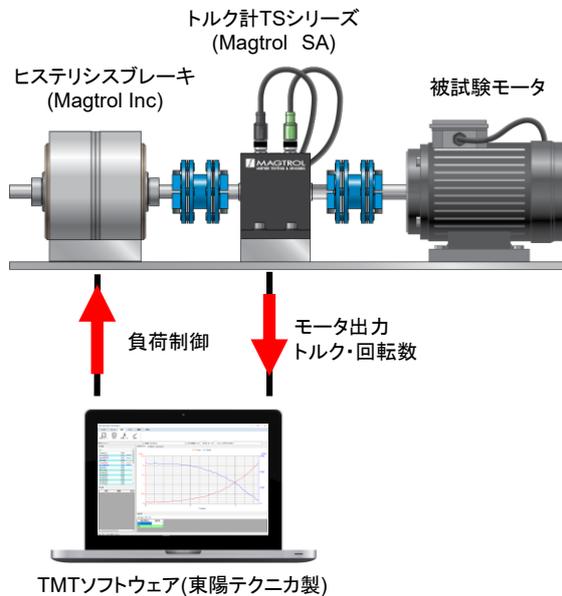
ドローンは測量、物流、農業用などさまざまな分野での活用が進んでおり、各産業において人材不足や働き方改革の観点から業務の効率化が進むにつれ、今後はさらにその用途が拡大していくと見込まれています。

ドローンの飛行性能を大きく左右するのはプロペラを回転させるモータ性能で、モータのトルク・回転数・効率などの性能によって、ドローンの飛行速度・飛行時間・高度などの性能が決まります。「ドローン向けモータ計測システム」では、飛行中のドローンのプロペラにかかるトルクを模擬することで、ラボ環境下のプロペラがない状態でモータおよびドライバーの検査や飛行中には起こりにくい異常時の負荷を模擬することが可能です。

東陽テクニカは、これまでも自動車をはじめさまざまな産業の開発市場においてモータ性能評価に関わるソリューションを提供してまいりました。これまでの50年以上におよぶ経験を基に、新たにドローン用のモータ計測に最適な試験手法や機器を提案し、ドローン開発市場に向けて開発サイクルの効率化と品質向上に貢献いたします。

## 【「ドローン向けモータ計測システム」について】

Magtrol 社製トルク計測システムに、東陽テクニカが開発したモータ計測用ソフトウェア「TMT ソフトウェア」を合わせて使用します。「TMT ソフトウェア」に、従来の負荷ブレーキのオープンループ、トルク制御、回転数制御の試験モードに加えて、ドローン用モータ評価に有効な疑似負荷制御の試験モードを実装しました。疑似負荷制御では回転数に応じたトルク制御値をユーザー定義関数により設定します。



「TMT ソフトウェア」を使用したモータ計測イメージ例

### < 試験項目 >

N-T 特性 / モータ・インバータ効率  
 温度特性 / コギングトルク  
 トルクリップル / 振動特性  
 誘起電圧 / 疑似負荷

## < 株式会社東陽テクニカについて >

東陽テクニカは、1953年の創立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : [marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

製品紹介ページ : [https://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/drone\\_system.html](https://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/drone_system.html)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。